

特殊詐欺防止で「東花園支店」「国分支店」に感謝状 ～ 「預手プラン」利用で警察と連携、今年度に入って4店舗 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 河村正雄）では、全店あげて特殊詐欺被害の未然防止に積極的に取り組んでいます。

今般、「預手プラン」を利用した適切な対応によりオレオレ詐欺を未然に防いだとして、10月18日（水）に枚岡警察署長から東花園支店（東大阪市、支店長 上大作）の営業課職員が、10月19日（木）に柏原警察署長から国分支店（柏原市、支店長 村上洋一）の営業課職員がそれぞれ感謝状を贈呈されました。

大阪府内では、特殊詐欺の被害が依然として高水準で続いています。日頃からのお客さまへの声かけが功を奏し、被害を未然に防ぐことができました。

なお、今年度にはいって、当金庫が感謝状をいただいたのは、6月の「岸の里支店」、9月の「江戸堀支店」に続き4店舗となります。

当金庫は、お客さまの大切なご預金をお守りするため、今後ともお客さまへの声かけを励行するとともに、警察との連携を一層強化し、特殊詐欺被害の未然防止に努めてまいります。

記

1. 表彰事例

(1) 東花園支店

高齢のご夫婦から多額の出金の申し出があり、職員が事情を聞くと「息子からお金が必要になり貸してほしいと連絡があったので定期預金を解約したい」とのことで、不審な点が見受けられたため、「預手プラン」のアンケートの記入を依頼のうえ、警察署へ通報し詐欺を未然に防止した。

(2) 国分支店

高齢の女性客から多額の出金の申し出があり、職員が事情を聞くと「息子からお金が必要になったと連絡があったので定期預金を解約したい」とのことで、不審な点が見受けられたため、「預手プラン」のアンケートの記入を依頼のうえ、警察署へ通報し詐欺を未然に防止した。



枚岡警察署長から感謝状を受け取る東花園支店職員



柏原警察署長から感謝状を受け取る国分支店職員

以上

(参考)

■今年度に入って警察署長から感謝状を頂いた店舗と事例

○岸の里支店（平成29年6月）

高齢の女性客から多額の出金の申し出があり、職員が事情を聞くと「息子の借金のために急に現金が必要になった」とのことで、不審な点が見受けられたため、「預手プラン」のアンケートの記入を依頼のうえ、警察署へ通報し詐欺を未然に防止した。

○江戸堀支店（平成29年9月）

高齢の女性客から多額の出金の申し出があり、職員が事情を聞くと「大手企業の社債を購入するために現金が必要になった」とのことで、不審な点が見受けられたため、「預手プラン」のアンケートの記入を依頼のうえ、警察署へ通報し詐欺を未然に防止した。

■特殊詐欺未然防止に向けた当金庫の取り組み

○平成27年4月から大阪府警察の指導による「預手プラン」を実施している。

○窓口では、「気づき」「支店内で連携」「預手プランの活用」の3つをキーワードとして、来店客の言動を注視し、お客さまへの声かけを励行するとともに、支店内で報告・連絡・相談を密にし、さらに警察と連携した迅速な対応を心がけている。

○ロビーでの注意喚起のビデオ放映や店頭へのチラシ設置、ATMコーナーへのポスター掲示により、お客さまへの啓発を行っている。

○平成29年4月からキャッシュカード振込機能の一部利用を制限している。

（70歳以上で、過去1年以上ATM振込をされていない口座からのATM振込を停止）

○地元警察署の協力を得て防犯訓練等を実施するとともに、未然防止事例や表彰の様子をイントラネットやビデオニュース（金庫内）を使って全店に配信し、情報の共有と職員のモチベーションアップを図っている。